

国際交流・協力に関する情報誌

いちゃい場 通信



Report 1

避難所運営訓練を実施しました

11月5日の『津波防災の日』に、那覇市の津波避難ビルにて災害時避難所運営訓練（共催：那覇市・那覇市消防局）を実施しました。当財団で認定した「災害時外国人支援サポーター」が中心となって、地域住民や外国人が一緒に避難所運営や避難所での生活を体験しました。

訓練では、地震や津波の発生後の避難所を想定し、避難者カードの記入や日本語の分からない外国人をサポートする多言語支援センターとの連携訓練、また車椅子の運搬を行いました。また、外部からの支援要請やメディア対応等、運営する上で起こり得る様々なイベントがシナリオとして付与され、それぞれの役割を持ったサポーターが熱心に取り組みました。さらに、那覇市消防局によるAEDの使用方法・心肺蘇生法を学ぶコーナーや、簡易テント・簡易リュックサックの作り方などのセミナーが行われ、多くの参加者が実際に体験しました。

午後には、昨年起きた熊本地震において実際に多言語支援センターを開設・運営に携わった（一財）熊本市国際交流振興事業団事務局次長の勝谷氏に基調講演を行っていただき、実際の運営経験に基づいて午前中の訓練の講評を行っていただきました。

運営側として訓練に参加して感じたことは、外国人支援とは単に外国人の支援だけに留まらず、最終的に地域住民支援につながることで、また支援を行うためには情報を多言語化するだけではなく、防災に関する広くて深い知識が必要になることを学びました。今後のサポーター養成講座の中にも、その学びを取り入れていきたいと思えます。

当日は地域住民等100名近い方々にご参加いただきました。また外国人参加者も多数見受けられるなど、とても有意義な訓練を行うことができました。サポーターの皆様、関係者の皆様、また当日、日曜日にも関わらず足を運んで下さった地域住民の皆様、誠にありがとうございました。



発行者

(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団

Okinawa International Exchange & Human Resources Development Foundation

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-2-16

TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220

HP: <http://kokusai.oihf.or.jp>

石垣市で災害時外国人支援サポーター養成講座を実施！

参加者の「防災・減災」や「自助・共助」の意識を高め、大規模災害時にことばや文化の違いのみを持って避難所等で孤立しがちな外国人を支援し、大規模災害時に財団が立ち上げる「多言語支援センター」と協力しながら、避難所巡回を担える人材の育成を目指すため、去る11月13日（月）と14日（火）に石垣市（共催：石垣市市民防災室 協力：石垣市観光交流協会）で災害時外国人支援サポーター養成講座を実施しました。

講座1日目は、実際に東日本大震災で被災し、避難所運営に携わった佐藤一男氏の記録を元とした講義を通して自助の大切さや、混乱期にこそ冷静に情報を精査することの重要性を学びました。また本県の多文化共生社会の実現に向けて、災害時における外国人支援のポイントを考えたり、「やさしい日本語」がなぜ災害時に有効なのかについて紹介しました。講座に引き続き、熊本地震の際、実際に熊本に派遣され、そこでの多言語支援を経験した当財団の職員から、実際の活動の内容やサポーターとして活動する際の注意点等が報告されました。

講座2日目は演習として「避難所運営ゲーム（HUG）」を行い、様々な状況の中で避難してくる地域住民を避難所となる体育館や施設の中に、どのように配置すべきなのか、また様々なシナリオが付与される中どのように対応するべきか、訓練と振り返りを通して理解を深めました。

講座受講者数は22名で、全員外国人支援に対する志も高く有意義な講座を実施することができました。

当財団に登録している災害時外国人支援サポーター数は本島と石垣島で112名で、引き続きサポーターの育成に努めて参りたいと思います。



移民学習セミナーを開催しました（県委託事業）

沖縄県の国際交流事業経験者等を対象とし、移民県沖縄の歴史に対する理解を深めるためのセミナーを11月11日（土）にP's SQUARE（浦添市西原）で開催しました。

基調講演では琉球大学法文学部人間科学科の町田教授に沖縄の移民の歴史や、移民先で暮らすウチナーンチュの若い世代が、「自分自身は一体どこからきて、今後どこに向かうのだろう」というアイデンティティーの問題を抱えている等、大変わかりやすくご講義いただきました。

また、全体のコーディネートを株式会社がちゆんの国仲氏に行っていただきました。ワークショップの中でいくつかのキーワードを用いてウチナーネットワークを継承・発信していくためには、どのような要素が優先されるかについて参加者で考えました。参加者からは、「このセミナーをきっかけに、ウチナーネットワークをもっと発信できるよう、まずは自分ができることに取り組みたい」「世界に発信していくためには、もっと地元沖縄のことに対する知識や理解を深めなくてはならない」等の感想が寄せられました。



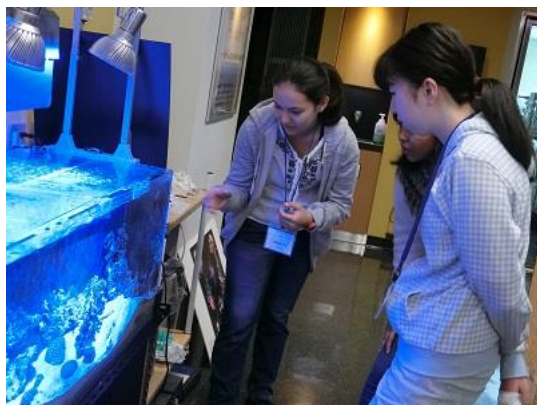
第4回グローバルリーダーシップセミナーを開催！

11月25日(土)に恩納村の沖縄科学技術大学院大学(OIST)に於いて、第4回グローバルリーダーシップセミナーを実施し、中学生から大学生まで17名が参加しました。OISTは世界中から研究者や職員が一堂に会し、英語を公用語としている施設で、毎回OISTの研究者や職員に語学インストラクターとして加わっていただいております。

午前中は、参加者の自発的な英語コミュニケーション力を高めるためのオリエンテーションを行い、その後OISTの外国人研究者や職員と英語のみで交流研修会を行いました。1グループ3名の参加者に1名のインストラクターが担当し、参加者はグループごとに与えられたミッションをクリアするため、英語でインタビューを行い、会話を弾ませ様々な情報集めに取り組みました。また、インストラクターの案内によるOISTキャンパスツアーを通して多国籍なキャンパスの環境を実際に肌で感じ、研究内容の簡単なレクチャーを受ける事ができました。インストラクターとの交流を通して「【英語】の中にもさまざまな国のアクセントがあるということを学べた」「英語力の向上と共に、コミュニケーション能力の向上も必要だと分かった」という感想が多数上がり、参加者は多くの学びを得ました。

セミナー全体を通して、「今までに経験したことがないディスカッションや発表で、物事を多角的に考えることを学ぶことができた」等の感想が寄せられました。次回は2018年2月17日(土)に開催*します。興味がある中学生から大学生のみなさん、ぜひご応募下さい。

(参加者申込締切：平成30年1月26日(金)) *



【県委託事業・ウチナンチュ子弟等留学生受入事業】

11月23日に、那覇市にて「文化体験研修」を実施しました。

那覇市観光協会が実施する「那覇まちま〜い」に参加し、牧志公設市場を中心とした平和通り近辺をガイドの方々に案内していただきました。留学生は普段から国際通りや平和通りを利用していましたが、街の歴史や成り立ち、地元の有名人や地域に密着したお店等を紹介していただき、たくさんの新しい発見や学びがありました。

まちま〜い後は、那覇市ぶんかテンブス館にて、「琉球漆器」の工芸体験をしました。日頃お店等で目にすることが多い伝統工芸品の1つですが、実際に体験してみると、その細やかさや職人さんの高い技術を感じることができ、良い経験になったようです。

この研修の経験を、これからの留学・研修に活かしてもらえたらと思います。



第64回国際理解・国際協力のための 高校生主張コンクール中央大会！

10月23日に第64回 国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール中央大会が東京都の国連大学にて開催されました。台風の接近と重なり、沖縄県の代表弁士派遣が懸念されましたが、無事に参加することができました。

沖縄県からは9月に行われた地方予選で選出された、沖縄県立開邦高等学校2年城間亮太(しろま りょうた)さんが本大会で優秀賞(第2位に相当)の「(公財)安達峰一郎記念財団賞」を受賞されました。おめでとうございます！中央大会では2年連続して沖縄県の高校生が入賞しています。



与えられる人権に目を向けて

開邦高校 2年 城間 亮太

「All human beings are born free and equal in dignity and rights. They are endowed with reason and conscience and should act towards one another in a spirit of brotherhood.」これは、一九四八年、十二月十日に採択された世界人権宣言の第一条に刻まれた言葉です。人類はこの条文にも出てくる「自由」「尊厳」「平等」といったいわゆる「人権」のために、はるか昔から懸命な努力をし、守り抜くため闘ってきました。初めは、ごく一握りの幸運な人たちのみに許されたものでした。

しかし、長い年月をかけて身分の垣根を越え市民へと、国の枠組みを越え全世界へと広がり「世界人権宣言」へとたどり着いたのです。「人権」はまさに、多くの犠牲を払いながらも人類が創造し、勝ち取った崇高の権利なのです。

しかしなぜ、採択から70年近くたち、「人権」が地球に存在するすべての人の権利になったにも関わらず、衣食住が揃わない人がいるのでしょうか。なぜ、未だ読み書きをすることができない人がいるのでしょうか。なぜ、自由に発言することができない人がいるのでしょうか。それは、未だ全ての人の手の中に「人権」が届いていないからなのです。

実際に私も、先天性の骨の病を患っており、症状の見た目などから見えない壁を感じることも多々あります。また、入院や通院で出会う、私よりも重度の障がいを抱えた方から、「段差で前へ進めないといった物理的な壁だけではなく、周りの視線や言葉といった人から受ける社会的な壁の存在もあり、自分を受け入れてもらえないのではないか」という心配の声もありました。このように社会的弱者と呼ばれる人々に未だ人権が行き渡っていない状況を改善するには、やはり現在の国連が行う二つの活動が必要不可欠なのです。

一つは「人権」をより普及させることです。未だ全ての人には届いていないのが現状であり、特に発展途上国では「人権」という概念さえ持たない人々があります。その人々に「人権」を伝え、根付かせていくことは、国連創設の目的でもある世界の平和維持にもつながる大きな役割だと思います。

そして二つ目が、「人権」の教育です。特に「国連人権教育の十年」では、各国の学校で人権問題を取り扱い、グローバルな認識向上と人権の文化育成を行い、その後の国・人権団体の自発的な活動へとつなげました。

私はこの二つの活動に加え、より人権が守られる社会にするために二つの提案をします。

一つ目は、先進国における「人権」への見直しです。これは「人権」自体を見直すのではなく、「誰のための人権か」を再認識するものです。現在、一部の社会では先進国が強者、発展途上国が弱者という構図になりつつあり、その中で断じて容認できない、先進国の「人権」が優先される人権侵害が発生しています。たとえば市場で商品を限りなく安価にするため、発展途上国では過酷な児童労働が行われている状況や、人種差別的な言動・行動が行われているなど、既に人権を守られている自称「強者」の人々によって弱い立場の人の人権を傷つけ、奪ってしまっているのです。したがって「人権」に強者や弱者はないことを強く訴え、考え方を見直す必要があります。

二つ目は、国連によって「人権」を侵害する者に罰則を設けることです。既に先進国などでは罰則を設けている国も存在しますが、法整備の整っていない国や地域でも取締りを行う必要があります。最大多数の「人権」を守るためには、処罰を行うことが必要なのです。さらに、過去には「人権」の存在をも脅かす二度の大戦もありました。このような大きな脅威にも国連の存在と提案した罰則により、人権だけではなく平和も守ることができるのです。しかし、この提案には、各国での法整備や取締り機関の設置が求められるため、国連との強固な連携が求められます。そのため、世界の国々は、国連の「人権促進」「人権保護」をサポートしなければならないのです。これら二つの提案によって人々は「人権」を手にすることができ、手にした「人権」はより守られていくのです。

かつて世界人権宣言に大きく貢献したエレノア・ルーズベルトは、このように述べています。「どんな関係においても大切なことは、何を受け取ったかではなく、何を与えたかです。」と、人権が保障され、平和な日々を過ごす私たちは、知らず知らずのうちに、他人の人権を侵してはいないでしょうか。今こそ「与えられる人権」に目を向け国連と共に、より人権の守られる社会を目指していかなければなりません。

国連そして私たちは「人権」が万人の権利となるまで闘い続ける義務があるのです。

映画上映会「Silencio Roto16 Nikkeis～沈黙は破られた～」

沖縄初上映！世界のウチナーンチュを通して、国際社会を見てみませんか？アルゼンチン社会に生きる日系人のドキュメンタリー映画上映および日系人や南米出身者とのゆんたく会を行い、参加者同士の交流を深めます。
参加無料

日 時：平成30年2月4日（日）10:00～12:00

場 所：南風原町喜屋武257（南風原文化センターホール）

連絡先：沖縄NGOセンター TEL:098-892-4758 / onc@oki-ngo.org



Think Girl Scouts
all over the world

World Thinking Day 2018

創始者であるベーデンパウエル夫妻の誕生日2月22日をワールドシンキングデイとし、世界中のガールスカウトが改めてその活動の意義を考える機会とし、また世界中に広がるガールスカウト達に思いをはせる日です。沖縄県支部ではUSAガールスカウトと共にこの日を祝い、2016年「Connect(つながる)」、2017年「Grow(広げる)」といったテーマに引き続き、2018年は「Impact(影響を与える)」というテーマのもと、世界の国々や文化を学ぶ機会とします。ガールスカウトには世界的視野を広げる機会が多くあり、今回のワールドシンキングデーもその1つです。これから益々グローバルな人材が求められる社会的背景において、国際理解を通し、国際人として活躍できる人材育成の推進をねらいとしています。

日 時：平成30年2月4日（日）10:00～16:00 参加無料

※但し世界で活躍しているガールスカウトの活動資金として国際友愛基金があり、寄付を募る。

場 所：沖縄市総合運動公園レクレーションドーム

連絡先：(一社)ガールスカウト日本連盟沖縄県支部 TEL:098-851-9006

世界の料理講座

世界の料理を通して、国際交流をしてみませんか？ いままで食べたことのない味に出会えるかもしれません！

参加費：会員1,300円 一般2,000円 学生1,500円

日 時：平成30年2月17日（土）

10:00～13:00

場 所：浦添市中央公民館2階 調理室

連絡先：098-879-3010

okinawa.uira@gmail.com

ふれあい講座

浦添にあるJICA沖縄国際センターに来ている研修員によるお国紹介や、青年海外協力隊のOBによる活動報告（パネル展示）、各国ブースを設置し、民族踊りの紹介や沖縄の踊りの紹介をし、お互いの文化交流を図ります。

参加費：無料

日 時：平成30年2月16日（金）

19:00～20:30

場 所：JICA沖縄国際センター 体育館

連絡先：098-879-3010

okinawa.uira@gmail.com

講演会「500年の叡智 アーユルヴェーダで自分を知る、人を知る」

健康管理の第一歩は、まず自分自身を知ることから始まります。世界最古の医学「アーユルヴェーダ」の素晴らしい知恵と一緒に学びませんか？体質チェック、瞑想やヨーガ体験、ハーブティーの試飲会を予定しています。

日 時：平成30年2月24日（土）14:00～15:45

場 所：那覇市旭町116-37 沖縄県市町村自治会館4階 大会議室

連絡先：沖縄友好協会 TEL:098-982-5951





第35回

外国人による 日本語弁論大会

The 35th Japanese Speech Contest for Foreigners

日時 Date and Time

平成30年

2月10日(土曜日)

Saturday, February 10th, 2018

開場 Door open: 13:30 開演 Start: 14:00

場所 Venue

沖縄科学技術大学院大学

Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University

国頭郡恩納村谷茶1919-1 1919-1 Tancha, Onna-son, Kunigami-gun



入場無料
Admission Free



主催: (公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団

Host: Okinawa International Exchange and Human Resources Development Foundation

TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220 <http://kokusai.oihf.or.jp>

共催: 沖縄県・沖縄テレビ放送株式会社

後援: 一般財団法人リゅうぎん国際化振興財団・一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー・沖縄県教育委員会
公益財団法人沖縄県文化振興会・在沖米国総領事館・独立行政法人国際協力機構 沖縄国際センター

協賛: 沖縄セルラー電話株式会社・沖縄ツーリスト株式会社・オリオンビール株式会社
日本トランスオーシャン航空株式会社・琉球ゴールデンキングス

書きそんじハガキ 2018

昨年度は、皆様のご協力のおかげで、276,849円分の切手を本部へ送ることができました。その後現金に換え途上国子どもたち、非識字者のために役立てられました。今年度も、書きそんじハガキのご協力をお願いいたします。文字や印刷等間違ってしまうポストに投函出来なかったハガキ、また、使わないで余ってしまった年賀状や未使用の切手が募金になります。書きそんじハガキ11枚で、途上国では子どもひと月、学校に通うことができます。

期 間：平成29年12月15日（金）～平成30年2月28日（水）

場 所：沖縄県那覇市泉崎1-2-2

（県教育委員会生涯学習振興課内 13F）

連絡先：沖縄県ユネスコ協会 TEL:098-866-2547（金城・渡慶次）



ユネスコ子どもの集い

小学生高学年対象（4年生～6年生）学生ボランティア（高校生）県内の児童生徒と県内アメリカンスクール在住の外国の児童生徒が野外炊飯・レクリエーション等の交流を通して親睦を図るとともに、ユネスコの平和を大切にする理念を学びながら、互いの文化も理解し合えるよう支援する。高校生のボランティア活動を支援する。



期 間：2月～3月初旬の日曜日 10:00～16:00 参加費600円（野外炊飯代）

場 所：沖縄県立石川青少年の家（予定）

連絡先：沖縄県ユネスコ協会沖縄県那覇市泉崎1-2-2（県教育委員会生涯学習振興課内 13F）

T E L : 098-866-2547 F A X : 098-863-9547（金城・渡慶次）

info@okinawa-unesco.com

※氏名・学校名・年齢・学年・保護者名・連絡先を記載しFAXまたはメールへ

日本語読み書き教室

毎週金曜日の19時から21時、当財団で「日本語読み書き教室」を開催しています。日常生活に必要な日本語の読み書きをわかりやすく教えています。現在、講師1名の他、英語、中国語、韓国語など語学力を駆使して講座をサポートしてくださるボランティアの皆さんも教室に携わっています。日本語読み書き教室の受講またはボランティア参加は随時募集しています。見学もできますので、興味がある方はぜひ当課までお問い合わせください！



担当：野原/金城（壽） kokusai2@oihf.or.jp

賛助会員募集！

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団（略称「OIHF」）は、本県の多文化共生社会の推進に寄与し、振興発展を担う人材育成事業や、国際性豊かな活力ある沖縄づくりを目指し、国際交流・協力事業を推進しております。当財団の趣旨や活動に賛同し、活動を支援して下さる、賛助会員を募集しています。沖縄県国際交流・人材育成財団の事業は会員の皆さまの支援によって支えられています。皆様のご協力をお願いいたします。

【年会費】 個人：3,000円 団体：10,000円

★お申し込み・お問い合わせは国際交流課まで★

TEL:098-942-9215 FAX:098-942-9220 E-mail:kokusai@oihf.or.jp